

事業名（団体名）観光資源を活用した地域の活性化（維和地区まちづくり委員会）

概要：天草四郎の母の里で「天草四郎が通ったかもしれない道ウオーク」のイベントを開催し、健康志向の高まりや風光明媚な自然に癒しを求め、また、江戸時代の歴史ロマンに想いを馳せて、多くの観光客に訪れてもらいたい。交流人口が増加することにより、地域住民が元気になり、住み慣れた場所が魅力ある地域であることの気付き、自信と誇りを持った交流など、心豊かな充実した生活を目指す。

事業の内容

大維架橋開通 40 周年・天草五橋開通 50 周年・雲仙天草国立公園指定 60 周年の節目の年に、県では「VISIT 天草」を企画され、多くの観光客の来島が望まれていた。この記念すべき年に「天草四郎が通ったかもしれない道ウオーク」を実施するためコースを整備し、老若男女を問わず誰もが気軽に参加できる大会として毎年開催することで、交流人口を増やし、地域を元気にする。

総事業費

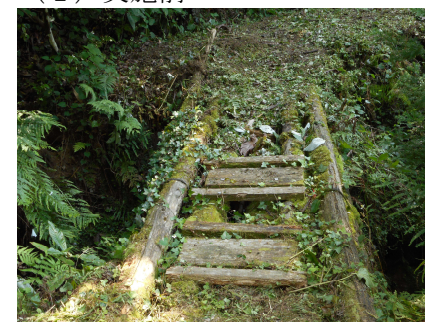
1, 934 千円（まちづくり助成金 1, 869 千円）

ポイント

- 看板・コース案内板等を設置し、地域内外の人がウオーキングを楽しめるようコースを整備した。
- 老朽化した丸太橋をかけ替えるなど安全面にも配慮し、整備を住民参加で行った。

事業の成果：（1）観光客が増え、地域の人達との交流により地域の活性化と持続可能な観光の推進・交流人口が促進された。（2）イベント時のみならず地域住民も常日頃から朝夕の散歩やウオーキングで健康増進を図るようになった。（3）地元の特産品を観光客に紹介、お土産として販売し経済的にも利潤があり元気になった。（4）浮棧橋を活用した海上タクシー利用者が増加した。

（1）実施前



（2）実施後

